

# 作業療法（さぎょうりょうほう、英語：Occupational Therapy

---

作業活動を治療の手段として、対象者の身体機能および精神機能（基本的能力）や日常生活動作（応用的能力）の改善・維持・低下予防、社会適応能力の向上などを図っています。

ここでいう「作業活動」とは日常生活動作、仕事、遊びなど人間の生活全般に関わる広い意味での活動を指します。

作業療法を行う者を作業療法士（英語：Occupational Therapist）と言います。作業療法士は生活を医学的視点から支援する専門職であり、生活場面における問題点を評価し、いろいろな作業活動を通して、機能回復にむけた治療、訓練を行います。また、残された機能を最大限に活用できるように支援を行います。

当院では上肢機能訓練の手段として低周波治療器（IVES 等）、上肢ロボット（ReoGo-J）等の使用、SPLINT 療法や自助具作成等での介入を進めています。また、APDL で必要となる家事動作への介入も積極的に行っており、生活体験ルームを使用し調理訓練、掃除動作訓練等を行っています。その他自動車運転に関して関わることもあり、入院・外来を問わずドライビングシミュレータ、SDSA（運転評価バッテリー）を使用し、評価結果を主治医やリハ医と共有し対象者への説明の一部として用いております。

## <主な内容>

- ・身体機能訓練
- ・日常生活動作訓練（ADL）  
食事動作、更衣動作、整容動作、トイレ動作、入浴動作、家事動作
- ・日常生活関連動作訓練（APDL・IADL）  
買い物、調理、食器洗い、掃除、洗濯など日常生活動作に関連してくる動作能力のこと
- ・高次脳機能・認知機能・精神機能への訓練  
趣味活動を通して意欲を引き出したり、情緒の安定を維持したりする促しを行います。障害によっては記憶力や注意力などの認知面が低下していることがあり、生活上で困っていることを分析し、改善を図ったり、困らないような工夫を行ったりします。
- ・家屋改修、福祉機器などの選択・使用方法の助言  
必要に応じて実際に自宅訪問をして、トイレ、浴室、玄関、階段など個々に合った手すりや福祉用具の選択を行います。